



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <http://www.rohto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉野 俊昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長

(氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-1211

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	120,323	12.0	11,859	31.7	12,222	26.7	7,807	33.5
27年3月期第3四半期	107,458	4.2	9,001	△31.5	9,643	△28.2	5,847	△28.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 6,797百万円(△35.1%) 27年3月期第3四半期 10,482百万円(△13.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	68.69	68.40
27年3月期第3四半期	51.54	51.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	182,610	115,322	62.6
27年3月期	177,509	110,516	61.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 114,286百万円 27年3月期 109,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
28年3月期	—	10.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,500	10.4	15,100	14.7	15,100	7.1	9,500	10.1	83.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	117,929,250株	27年3月期	117,929,250株
28年3月期3Q	4,208,947株	27年3月期	4,338,688株
28年3月期3Q	113,653,436株	27年3月期3Q	113,462,467株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 自己株式数には、従業員持株ESOP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数 28年3月期3Q 190,200株、27年3月期 320,200株)が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、消費税増税の影響が薄れたことに加え、訪日外国人の増加によるインバウンド需要の拡大等により回復基調で推移いたしました。海外におきましては、アメリカの景気は堅調に推移しているものの、中国の景気減速に加え、欧州・中東における地政学リスクの高まりにより不安定要素が増してきております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても消費者ニーズの変化に対応した高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は1,203億2千3百万円（前年同期比 12.0%増）となりました。日本において消費税増税の影響が一巡したことに加え、アジアを中心に海外において増収となったこと、さらに円安による為替換算の影響も寄与いたしました。

利益面につきましては、新規分野への先行投資が継続しているものの売上が堅調に推移したことにより、営業利益は118億5千9百万円（同 31.7%増）、経常利益は122億2千2百万円（同 26.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は78億7百万円（同 33.5%増）となりました。

報告セグメントの概況は次のとおりであります。

<日本>

外部顧客への売上高は、720億5千5百万円（前年同期比 7.2%増）となりました。

消費税増税の影響が一巡したことに加え、インバウンド需要も寄与し主力のアイケア関連品、スキンケア関連品が好調でありました。アイケア関連品では「ロートジー」などの若者用目薬が好調でありました。スキンケア関連品におきましては、暖冬の影響もあり保湿系の医薬品やリップクリームが伸び悩んだものの、高付加価値の「極潤プレミアム」シリーズを新たにラインアップした「肌ラボ」や「ダーマパワーX」シリーズをリニューアルした機能性化粧品「オバジ」、「オイルin」シリーズを追加した「50の恵」、「スガオ スフレ感チーク&リップ」を追加した「SUGAO」などが好調でありました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、研究開発費など新規分野への先行投資があるものの大幅な増収となったことにより、76億8千8百万円（同 40.3%増）となりました。

<アメリカ>

外部顧客への売上高は、59億4千1百万円（前年同期比 20.4%増）となりました。

米国経済が個人消費の堅調な推移により緩やかな回復の兆しを見せてきているものの、暖冬の影響により冬物商材が伸び悩みました。一方、目薬については新製品が好調に推移しており、円安による為替換算の影響もあり増収を確保いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、競争激化への対応や新製品発売に伴う広告費及び販売促進費が増加したことにより、6億6千6百万円の損失（前年同期のセグメント損失は6億2千5百万円）となりました。

<ヨーロッパ>

外部顧客への売上高は、62億3千8百万円（前年同期比 39.7%増）となりました。

ヨーロッパにおきましては、消炎鎮痛剤「ディープヒート」シリーズが堅調に推移したことや前期に取得したダクス・コスメティクス社が増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、増収となったことにより3億5千1百万円（同 15.4%増）となりました。

<アジア>

外部顧客への売上高は、344億6千7百万円（前年同期比 17.6%増）となりました。

日やけ止め「サンプレイ」や男性用化粧品「メンソレータム メン」などのスキンケア関連品が堅調でありました。また、目薬が好調に推移していることに加え、秋冬の需要期を迎えたりップクリームも中国で新製品を発売したことにより堅調で増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費の増加があったものの、増収が寄与し、41億2百万円（同 19.0%増）となりました。

<その他>

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、16億2千万円（前年同期比 4.3%増）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、1億3千6百万円（同 15.6%増）となりました。

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は1,826億1千万円となり、前連結会計年度末より51億1百万円増加いたしました。これは、電子記録債権が41億5千8百万円、商品及び製品が27億3千7百万円、受取手形及び売掛金が18億5千5百万円増加した一方、現金及び預金が20億9千7百万円、投資有価証券が11億8千3百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は672億8千8百万円となり、前連結会計年度末より2億9千4百万円増加いたしました。これは、電子記録債務が21億1千9百万円、未払法人税等が14億5百万円増加した一方、短期借入金が33億2千万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,153億2千2百万円となり、前連結会計年度末より48億6百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が55億2千9百万円増加した一方、為替換算調整勘定が8億9千7百万円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月4日に公表いたしました通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,733	23,635
受取手形及び売掛金	32,424	34,280
電子記録債権	6,513	10,672
商品及び製品	12,918	15,656
仕掛品	2,360	2,405
原材料及び貯蔵品	7,290	7,952
その他	6,590	6,783
貸倒引当金	△139	△187
流動資産合計	93,692	101,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,347	21,729
その他(純額)	28,022	27,797
有形固定資産合計	50,370	49,526
無形固定資産		
のれん	1,326	1,056
その他	3,050	2,557
無形固定資産合計	4,376	3,614
投資その他の資産		
投資有価証券	24,325	23,141
その他	6,118	6,739
貸倒引当金	△1,374	△1,609
投資その他の資産合計	29,070	28,271
固定資産合計	83,816	81,413
資産合計	177,509	182,610
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,154	10,941
電子記録債務	47	2,167
短期借入金	8,349	5,029
未払費用	26,452	26,666
未払法人税等	882	2,288
賞与引当金	1,854	930
役員賞与引当金	20	22
返品調整引当金	700	830
売上割戻引当金	2,190	2,090
その他	6,956	6,803
流動負債合計	57,607	57,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
固定負債		
長期借入金	1,074	1,147
退職給付に係る負債	4,657	4,779
その他	3,653	3,591
固定負債合計	9,385	9,519
負債合計	66,993	67,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,411	6,411
資本剰余金	5,738	5,738
利益剰余金	92,315	97,844
自己株式	△5,451	△5,242
株主資本合計	99,013	104,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,646	6,506
為替換算調整勘定	5,479	4,581
退職給付に係る調整累計額	△1,618	△1,554
その他の包括利益累計額合計	10,507	9,533
新株予約権	568	568
非支配株主持分	425	467
純資産合計	110,516	115,322
負債純資産合計	177,509	182,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	107,458	120,323
売上原価	44,179	48,741
売上総利益	63,279	71,581
返品調整引当金繰入額	—	130
返品調整引当金戻入額	120	—
差引売上総利益	63,399	71,451
販売費及び一般管理費	54,397	59,592
営業利益	9,001	11,859
営業外収益		
受取利息	173	204
受取配当金	355	393
持分法による投資利益	126	—
その他	362	196
営業外収益合計	1,018	794
営業外費用		
支払利息	141	131
持分法による投資損失	—	145
その他	234	155
営業外費用合計	376	432
経常利益	9,643	12,222
特別利益		
投資有価証券売却益	454	71
特別利益合計	454	71
特別損失		
投資有価証券評価損	246	200
関係会社株式評価損	—	131
貸倒引当金繰入額	490	170
関係会社貸倒引当金繰入額	—	39
特別損失合計	737	541
税金等調整前四半期純利益	9,361	11,752
法人税等	3,511	3,954
四半期純利益	5,850	7,798
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,847	7,807

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	5,850	7,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	504	△160
為替換算調整勘定	4,130	△924
退職給付に係る調整額	△5	63
持分法適用会社に対する持分相当額	2	20
その他の包括利益合計	4,632	△1,000
四半期包括利益	10,482	6,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,470	6,833
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	67,197	4,936	4,466	29,304	105,904	1,554	107,458	—	107,458
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,337	996	3	2,032	4,369	20	4,389	△4,389	—
計	68,535	5,932	4,469	31,336	110,273	1,574	111,848	△4,389	107,458
セグメント利益 又は損失(△)	5,481	△625	304	3,449	8,610	118	8,728	273	9,001

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額273百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	72,055	5,941	6,238	34,467	118,702	1,620	120,323	—	120,323
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,325	1,084	2	2,317	4,730	15	4,745	△4,745	—
計	73,380	7,025	6,241	36,785	123,432	1,636	125,068	△4,745	120,323
セグメント利益 又は損失(△)	7,688	△666	351	4,102	11,476	136	11,613	245	11,859

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額245百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。